

環境調査結果のお知らせ

令和3年1月18日10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

水温は13.3～14.7℃で、前回調査時(R2.12.18)と比較して表層で1.2℃上昇し、1m層から底層で0.3～4.4℃低下しました。

塩分は30.9～31.8で、前回調査時と比較して表層から1m層で4.1～5.3上昇し、2m層から底層で0.1低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は8.8～10.1 mg/Lで、前回調査時と比較し全層で1.3～2.8 mg/L増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.0mでした。

検鏡の結果、プロロセントラム属が最高で1,600 cells/mL、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で800 cells/mL確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深 (m)	今回調査	前回調査(R2.12.18)	
			差(今回-前回)
0m	13.3	12.1	1.2
1m	13.3	13.6	▲ 0.3
2m	13.6	18.0	▲ 4.4
B-1	14.7	18.3	▲ 3.6

表2 塩分

測定水深 (m)	今回調査	前回調査(R2.12.18)	
			差(今回-前回)
0m	30.9	25.6	5.3
1m	31.0	26.9	4.1
2m	31.3	31.4	▲ 0.1
B-1	31.8	31.9	▲ 0.1

表3 溶存酸素量(mg/L)

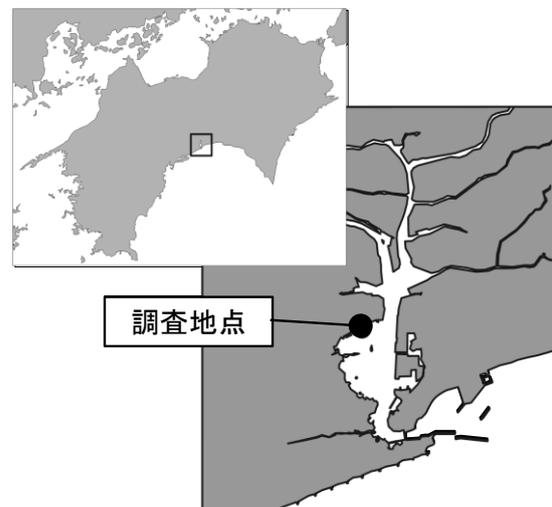
測定水深 (m)	今回調査	前回調査(R2.12.18)	
			差(今回-前回)
0m	10.1	8.8	1.3
1m	10.0	8.4	1.6
2m	9.9	7.1	2.8
B-1	8.8	6.9	1.9

表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.5	3.5
透明度	2.0	2.5

表5 プランクトン(cells/mL)

測定水深(m)	プロロセントラム属	ヘテロシグマ・アカシオ	珪藻類
0	1,600	500	10
1	1,400	200	4
2	900	800	8



漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000～50,000cells/mL(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>